

私たちの復興会議

～つながる、ひろがる、変える！～



奥山 恵美子(おくやま えみこ)さん

仙台市長(宮城県)。秋田県出身。高校の2年間は盛岡市で過ごす。東北大学経済学部卒業後、仙台市職員となる。女性企画課長、せんだいメディアテーク館長、教育長などを歴任。2007年には副市長に起用され2年間務める。2009年、政令指定都市では初めての女性市長となる。東日本大震災発生後も、被災地となった仙台市でリーダーシップを発揮する。

第一部：13：40～14:40

基調講演

「男女共同参画の視点で考える
地域防災とは」

講師：奥山恵美子さん(仙台市長)

2012.1月15日(日)

13:30～16:30 (開場 13:00)

会場：プラザおでって3階
おでってホール

参加費：無料

参加申込：2012年1月4日(水)10時から

電話(019-604-3303)または

FAX(050-2013-4750)で受付

託児予約：未就学児、定員3人まで先着順

一人500円負担(締切り1月11日(水))

第二部：14：50～16：30

シンポジウム「3.11からのスタート～つながる、ひろがる、変える～」



石井布紀子さん

(NPO法人さくらネット
代表理事)

兵庫県生まれ。阪神・淡路大震災にて被災、以後、被災地の支援活動や平常時の防災・減災活動に関わる。暮らしを守る活動の中で、女性の力を再確認する日々を送っている。NPO法人さくらネット代表理事、一般社団法人子どもエンパワメントいわて理事。



八重樫綾子さん

(NPO法人いわて
GINGA-NET 代表)

東日本大震災に伴い全国の1,086名の学生たちが参画した「いわて GINGA-NET プロジェクト」に岩手県立大学学生ボランティアセンターとして携わり、活動のコーディネートを行う。2011年11月、学生の人材育成を目的とした学生発のNPO設立。代表となる。



山下 梓さん

(東日本大震災女性支援
ネットワーク世話人)

岩手県生まれ。県内のLGBT※のための岩手レインボーネットワーク主宰。さまざまな「マイノリティ」の視点から見た災害について問題提起、発言を行う。岩手大学男女共同参画推進室特任研究員。(LGBT※ゲイ・レズビアン・バイセクシュアル・トランスジェンダー、これらの頭文字をつなげた略語)

コーディネーター：平賀圭子(NPO法人参画プランニング・いわて理事長)

● 問い合わせ・申し込み先

もりおか女性センター(本館)

電話 019-604-3303 FAX 050-2013-4750

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階 <http://mjc.sankaku-npo.jp>

もりおか女性センター指定管理者：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

参加申込み書

もりおか女性センター（本館） あて

FAX 050-2013-4750

申込者 _____ TEL. _____

氏名	所属	第一部 基調講演	第二部 シンポジウム



☞ 専用の駐車場はありません。車でお越しの方は
おでっ地下有料駐車場、または近隣の有料駐
車場をご利用ください。

- 主催 盛岡市、もりおか女性センター
- 共催 もりおか女性の会、盛岡市婦人防火クラブ連合会
- 後援 岩手県、盛岡市教育委員会、岩手大学男女共同参画推進室、岩手県社会福祉協議会、盛岡市町内会連合会、日本助産師会岩手県支部、子どものエンパワメントいわて、NPO 法人いわて GINGA-NET、東日本大震災女性支援ネットワーク、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、マ・シェリ